

# きよせ 市議会だより

令和3年(2021年)  
5月15日 No.229



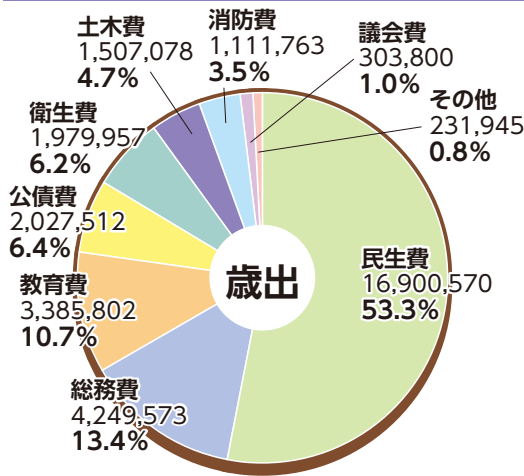
発行 清瀬市議会  
清瀬市中里5-842  
TEL (042) 492-5111 (代) FAX (042) 495-1189  
清瀬市ホームページ <https://www.city.kiyose.lg.jp/>

## CONTENTS

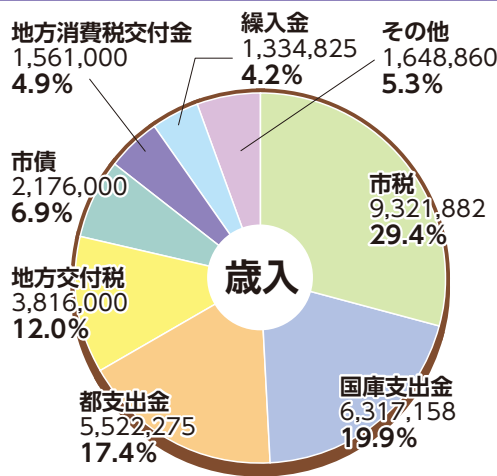
- 02…令和3年第1回定例会  
令和3年度一般会計予算を可決
- 04…令和3年度一般会計予算討論要旨
- 05…「市政を問う」代表・一般質問(要旨)
- 14…令和3年第1回定例会  
可決・承認・同意した主な議案
- 15…提出された議案等の結果
- 16…市議会日誌、第2回定例会の開会予定  
用語の解説

風薫る新緑のけやき通り

# 一般会計歳入歳出予算構成表 (単位：千円)



歳出総額 31,698,000 千円



歳入総額 31,698,000 千円

令和3年  
第1例会

賛成多数で  
可決

令和3年度一般会計予算

令和3年度一般会計予算は、歳入歳出の総額をそれぞれ316億9千800万円（前年度比で20億200万円、率で5.9%の減）としています。

歳入では、全体のおよそ3割を占める市税は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞や所得環境の悪化などにより、個人市民税及び法人市民

## 令和3年度一般会計 予算のポイント



各特別会計は所管の常任委員会において審査され、定例会最終日に委員長の審査報告を受け採決を行った結果、いずれも可決されました。

提出された議案等の審議結果は、15ページに掲載しています。

令和3年清瀬市議会第1回定例会は、3月1日（月）から3月24日（水）までの24日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和3年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療、下水道事業の各特別会計予算などの市長提出議案23件、委員会提出議案2件、議員提出議案7件、請願2件、陳情5件を審議し、1件の報告を受けました。

なお、一般会計予算については定例会初日に予算特別委員会を設置し、正副議長を除く全議員を委員に選出、委員長に鈴木たかし議員、副委員長に齊藤実議員を選出しました。予算特別委員会は今般の新型コロナウイルス感染症に対応する市側の業務増大に配慮して、質疑は開始時間を当初の予定から1時間早めると共に、日程を1日短縮して2日間で行いました。

税の減収が見込まれるほか、固定資産税においても評価替えにより家屋分の減少が生じたことなどから、全体では前年度に比べて2億5千243万円減額の93億2千188万円となっています。また、国庫支出金は、駅前乳児保育園の民設民営化や児童虐待・DV防止対策等支援事業費の増額などにより、前年度に比べて0.8%増の63億1千715万円、都支出金は、小学校体育館空調設備整備事業や新設保育園の開設に向けた施設整備補助等の増額などにより、前年度に比べて4.1%増の55億2千227万円となっています。

歳出では、10年間にわたる第4次清瀬市長期総合計画の6年目となることから、前半5年間の効果検証を踏まえて第4次清瀬市長期総合計画に掲げた以下の5つの将来像に係る主な事業に加えて、新たな課題である新型コロナウイルス感染症対策に向けた取り組みを重点とした施策を着実に展開していくこととしています。

※（ ）内は予算額

将来像1..安全でつるおいのある暮らしができるまち

### ●防災・防犯体制の充実・強化

- ・野塩地域市民センター耐震改修工事（1億9千万円）
- ・小学校体育館空調設備整備工事（2億4千500万円）
- ・地域防災計画の改訂（350万円）
- ・柳瀬川右岸5号雨水幹線整備（2億6千362万7千円）

### ●文化・芸術・スポーツ活動の支援

- ・内山運動公園サッカー場（A面）人工芝張替工事（1億3千500万円）
- 男女平等社会の推進
- ・起業支援事業（生涯学習センター内にコワーキング）

グスペースを整備) (750万円)

将来像2: 健幸でともに支え合うまち

●生活の安定の確保及び自立・就労支援

・生活困窮者自立支援事業の継続実施 (6千256万円)

●健幸づくりの支援

・健幸ポイント事業で新たに医療費分析を実施(対象者: 市内在住20歳以上の方1千人) (1千693万6千円)

将来像3: 子どもたちを健やかに育むまち

●地域連携による学校教育

・清瀬中学校内に地域交流拠点としてのコミュニティハウスを開所 (5千500万円)

●青少年の健全育成

・清瀬駅南口地域児童館整備基本計画策定業務 (1千500万円)

将来像4: 豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

●道路ネットワークと交通環境の整備

・都市計画街路事業 (東村山都市計画道路3・4・16号中清戸線の移転補償調査、測量等) (1千500万円)、(東村山都市計画道路3・4・17号下清戸線の下清戸四丁自地内及び五丁自地内の用地購入、移転補償調査等) (1億8千309万7千円)、(東村山都市計画道路3・4・26号久米川駅清瀬線の移転補償調査) (630万円)

●自然環境の保全

・せせらぎ公園用地取得 (約2千300㎡) (2億4千

239万5千円)

・中里一丁目緑地用地取得 (約2千600㎡) (2億5千555万9千円)

●農業の振興

・都市農業経営力強化事業 (環境制御システムを導入したパイプハウス設置等の施設整備を補助) (6千円)

●商業の振興

・ニンニンスクラッチ事業 (清瀬商工会と連携して取り組む事業) (600万円)  
・商店街チャレンジ戦略支援事業 (6商店街の11のイベント事業支援) (1千446万3千円)

将来像5: 都市格が高いまち

・国指定重要有形民俗文化財「清瀬のうちおり」を郷土博物館で常設展示するための保存・展示用ケース等 (2千70万円)

新型コロナウイルス感染症対策に向けた主な取り組み

・PCRセンターの継続設置 (1千596万8千円)  
・医療従事者への支援 (ワクチン接種等に対応する医療機関への支援金) (4千100万円)  
・公共施設に非接触型自動水栓を導入 (2千万円)  
・商店街応援事業 (市内商店街へ店舗数に応じた応援金を支給) (1千446万円)  
・ひとり親家庭等支援事業 (児童育成手当受給者(令和3年4月分受給者)へ児童一人につき5万円を支給) (5千615万円)



城前橋付近上空から望む柳瀬川と台田団地

# 一般会計 予算討論 要旨



## 賛成討論 清瀬自民クラブ

コロナ禍による経済活動の停滞で、歳入は財源を臨時財政対策債（地方の借金）で対応する事態です。そんな中、今後の介護対策の地域包括ケアシステム構築の推進。健康ポイント事業分析。地域交流拠点としてのコミュニティハウスの開所。今後の清瀬駅南口地域児童館整備等が期待されます。都市農業経営力強化事業や清瀬の大切な財産であるみどりへの取組

多岐にわたる市政の取組をより強力に推進していくための組織編制により、郷土博物館の企画部への位置付け等は清瀬の長い歴史や文化を発信する体制が整った事。また、今後の防災減災対策・低所得者・子育て世代への支援等、福祉の政策。新型コロナウイルス感染症対策等。行政課題に優先順位のある迅速かつバランスの良い予算編成を高く評価するとともに、新庁舎の礎を築いた故中澤副市長の功績に感謝致します。

## 賛成討論 公明党

コロナ禍、市財政は、かつてない厳しい状況だが様々な行政課題に対応し施策展開が図られた。新型コロナウイルス対策強化とワクチン接種、地域防災計画見直し、ゲリラ豪雨対策と雨水幹線整備、空き家・振り込め詐欺対策、高齢者安全運転支援装置助成、都市計画道路計画的整備、各種がん検診・成人歯科検診、健康ポイント事業、禁煙治療費助成、ネウボラ事業、子育てクーパー事業、清瀬駅南口地域児童館整備、小学校体育館空調整備、部活指導員配置、農業振興、活気を取り戻す商店街チヤレンジ戦略支援事業、マイナンバーカード普及支援など公明党が提案推進した事業が多く盛り込まれた。今後は人口減少社会が進み厳しい市政運営が強いられる。GW明け、新庁舎の運用が始まる。市民がより一層安心と希望を抱ける行政運営・市民サービスを要望し賛成討論とします。

## 反対討論 日本共産党

コロナ感染防止には、医療や介護施設、子どもの施設等に社会的なPCR検査を抜本的に広げ、無症状者を把握・保護すること、くらしと商店の営業の土台を支えることが必要です。国の交付金を活用し、急いで下水道料金の免除やごみ袋の負担軽減、国保税の子どもの減免、商店への給付金など行うよう求めます。介護保険料6%の値上げや、公共施設使用料値

上げの検討など負担増は容認できません。

コロナ後は、命や人の尊厳を大事にするケアに手厚い社会が必要で、住民福祉の向上を役割とする自治体が、民間委託で職員削減を続けるのはやめるべきです。学童クラブと児童館に指定管理者制度が導入されますが、引継ぎを丁寧に行い、運営を検証すべきです。児童センターのエアコン改修で5か月休館するのは問題です。開館しながらの工事へ改善すべきです。

## 反対討論 共に生きる

2021年度は概ね適正な予算が立てられたと判断いたしますが、市民生活に直結する課題として検討を要する項目については、不十分と捉え反

貸付金制度の復活を喫緊の課題として求めます。

対します。

コロナ禍で、生活相談支援センター「いっば」への相談件数が増えています。とくに若者、独身女性、ひとり親家庭、高齢者で生活に困窮する人が増加し、深刻な状況です。そこで例えば、緊急

## 賛成討論 風・立憲・ネット

コミュニティハウス事業など新年度予算に賛成し、以下要望を述べる。

住居確保給付金や学習支援利用世帯に先を見通せる家計相談が必要だ。

南口児童館の設計・運営に子ども参加を望む。

NPOの運営となる学童クラブのおやつ、指導員待遇など改善を期待する。高学年児童が選択できる放課後や長期休暇の居場所がもっと必要だ。

コロナ禍で子どもの心の健康が心配だ。子どもが主役の学校となっているか見直しを求める。増加するDVは平等意識の欠如と考えた対応を望む。

あらゆる世代・分野の課題を受けとめる地域包括ケアを求める。家族をまるごと支えてほしい。

気候危機の今、緑地保全の重要性が増している。ゲリラ豪雨は雑木林や公園での一時貯留を求める。プラスチックごみの排出抑制を進めたい。

避難所はコロナ対応を標準とし訓練も必要だ。

また、昨年で介護保険制度が創設されてから20年になりました。3年ごとの見直しによりだんだんと複雑になり、サービスが受けづらくなっています。介護保険料の値上げは市民にとって大きな負担となります。

くわえて、幼保無償化に伴う本市の財政に与える影響額が減少するということであり、その分を保育園の給食費に充てることを提案します。

新型コロナウイルスによる税収減という短期的なリスクよりも、少子高齢化とそもそもその財政力の弱さが、この街の構造的なリスク要因である。扶助費のよ

うな義務的経費が多いことから経常収支比率は高止まりし、新たな行政需要に向ける費用がほとんどない。一方で国保会計には赤字補填のため新年度も一般会計から約6億円の法定外の繰り出しが続く。新型コロナウイルスによる

市税の減収分は、地方交付税制度でほとんど補填されることを考えると、国保の赤字の大きさがま

ちづくりに与える影響は非常に大きい。清瀬市の財政問題は構造的な問題なので一朝一夕には解決しないが、分

新型コロナウイルス感染症は未だ収束せず、市民生活や経済活動に影響を及ぼしており、清瀬市

でも引き続き、厳しい財政運営を強いられることが見込まれています。そんな中でも感染症対策をはじめ、様々な施策を積極的に展開しています。南口地域児童館の整備に向けた基本計画の策定や検討は、南口地域にとって明るい話題です。国指定重要有形民俗文化財

「清瀬のうちおり」の常設展示、せせらぎ公園と中里一丁目緑地用地の取得は、歴史や自然環境を次世代に伝えていく決意を感じます。

防災体制の強化、都市計画や住環境の整備、子育て支援や高齢者支援、生活困窮者への支援、農業や商工業の振興など、令和3年度清瀬市一般会計予算は、多岐にわたる行政需要に応える予算であると高く評価し、着実な歩みに期待をして賛成討論とします。

# 市政を問う

## 代表・一般質問 要旨

代表質問：各会派の代表が、市長の所信表明に対し代表質問を行う。あわせて一般質問も行うことができる。  
一般質問：議長を除く議員が行政全般にわたり、事務の執行状況、方針等に対し質問することができる。



公明党 代表質問

鈴木 たかし

### アフターコロナへ 新年度の市政運営について

問いよいよ始まるワクチン接種によってコロナ禍も収束することを期待しますが、自粛のないこれまでの生活スタイルに戻るアフターコロナへ向け、市民や事業者を活気づける策について伺います。

答引き続き市内事業者をしっかりと支援するとともに、イベントも様々な工夫を凝らしながら実施していきま

### 医療の街・清瀬に ふさわしいワクチン接種を

問清瀬市は、病院の街・医療の街として知られています。そこで今回のワクチン接種では、中里団地や台田団地周辺また野塩団地など、徒歩圏内に医療施設がないところでも実施し、どこでも円滑に安心して接種ができる「清瀬モデル」を構築して

心してワクチン接種していただけるよう、できるだけアクセスのよい場所での接種会場の設置を調整していきます。また、接種会場を設けるだけでなく、市民一人一人にとって接種しやすい環境づくりも大切であると考えています。

### 市内観光ツアーの実施を

問アフターコロナへ向けた経済の巻き返し策として、ワクチン接種済の市民を対象とし、大林組技術研究所や気象衛星センターなどの施設、そして新庁舎もコースに加えた、市内観光ツアーを市内の観光事業者や市内の飲食店を使って実施してはいかがでしょうか。

答事業を実施することは、市内事業者を活用することによって地域産業の活性につながると考えています。国や東京都からの交付金の状況や、ワクチン接種後のイベント開催の指針など、今後の社会情勢とワクチン接種の進捗状況等を注視しつつ検討していきます。





風・立憲・ネット 代表質問

## 小西 みか

### コロナ禍での生活困難 世帯への一層の支援体制を

**問**この間、ひとり親支援を充実し、新年度も追加することは評価する。しかし、生活困難はコロナ禍で初めて現れたのではなく、顕在化しただけであり、日常からの支援の充実が必要だ。また、共働きでも二人とも非正規労働世帯や、アルバイトで生活費や学費をまかなう学生も深刻な状況であることが調査からみえている。国も一定の支援をしているが、自治体としても何かできないか。

**答**コロナ禍を乗り越えるためには、全ての支援機関が既存の制度をしっかり活用するとともに、コロナ禍で充実させた支援や新たな支援策を適切に実施しながら支援機関同士の情報共有や連携を深めることが大切だと考えています。

### 安心して出産・子育てができる支援体制の充実を

**問**妊娠期から子育て期の相談、情報提供、支援プラン作成、保健指導等、「スマイルベビーきよせ」で包括的支援が行われている。家族の育児の援助が受けられない場合、産後退院

時からの支援が必要となるが、経済面も含めた具体的な支援プランが作成されているか。

**答**支援プランはご本人や家族、職業等の基礎情報、面接・面談内容に基づき作成し、両親学級や産後ケア訪問、ファミリーサポートなどの事業提案と今後の方針を記載しています。産後退院時からの具体的なプラン等については、フォーロー区分や個々の状況によって提案しています。

### 特に困難な多胎児や年子の 育児への支援の充実を

**問**産後ケア事業では自宅での授乳や沐浴の育児指導、乳房ケアや栄養指導など母体ケアを数回受けることができるが、さらに日々の困難を乗り切るための支援は用意されているか。

**答**産後ケア事業では双子や多胎児の場合6回まで対応できますが、相談等のフォローには限りはありません。子ども家庭支援センターが実施しているホームビジターやファミリーサポート、養育支援ヘルパーなどを組み合わせて、しっかりと寄り添って支援しています。



清瀬自民クラブ 代表質問

## 渋谷 のぶゆき

### 第4次清瀬市長期総合計画 について

**問**令和3年度は第4次清瀬市長期総合計画の6年目にあたります。

所信表明でも、「基本構想に掲げる10年後の将来像の実現に向けて、着実に施策を展開していく年」としています。長期総合計画の進捗状況と今後の施策の展開について、市のご見解を伺います。

**答**昨年実施した世論調査の結果では、まちづくり指標の達成率は8割程度となっており、おおむね順調に計画が推進できていると考えています。長期総合計画に掲げる将来像の実現に向け、今後も行政評価などにおいて十分に分析を行い、効果的な施策の展開を図っていきます。

### 令和3年度予算編成 について

**問**令和3年度の一般会計予算額は、前年度比で5.9%の減となっています。

新型コロナウイルスの影響により、市税収入などの大幅な減少が見込まれ、難しい予算編成だったと思います。今回の予算編成で苦労した点について伺います。

**答**市税収入など歳入の大幅な減少が見込まれる中、財源の確保に苦労しました。国の交付金の活用や、臨時財政対策債の増額発行、財政調整基金の繰り入れなどで財源を捻出し、感染症対策をはじめ、台風等の風水害対策、健康施策、子育て支援などを重要課題と位置付け編成しました。

### 公共施設再編について

**問**清瀬市の公共施設は老朽化しているものが多く、すべてを建て替えるのは財政的に不可能であり、再編を進めていくべきと考えます。

なぜ公共施設再編が必要か説明し、理解を得て市民と一緒にまちづくりを進めていくべきだと思えます。市のご見解を伺います。

**答**これまでの市民説明会において市の財政状況や再編の必要性はご理解いただけても、具体的な施設の再編についてはご意見をいただくこともありませんでした。再編には市民の皆さんのご理解とご協力が必要不可欠です。ので、十分な説明と意見交換の機会を設け、合意形成を図ってまいります。



日本共産党

代表質問

## 原田 ひろみ

### 住民福祉の向上へ公的責任を果たす体制の確保を

**問** 経済効率を優先し医療や保健所の体制を弱め、非正規労働を増やすなど、この間の自民党政治の歪みがコロナ禍で浮き彫りとなりました。この歪みを正すことが自治体にも問われています。児童館と学童クラブの指定管理者への委託や市立乳児保育園の廃園、市役所出張所廃止の検討などで職員を削減することは、公的責任を投げ出すものです。住民福祉の向上へ転換を求めます。

**答** 最少の経費で最大のサービスを提供することは、市に課せられた変わらぬ使命です。引き続き行財政改革をしっかりと進め、市民の健康や福祉の向上のため、持続可能な財政運営を確保することが必要であると考えています。

### コロナ禍のくらしと営業を支える新年度予算を

**問** 感染を抑え、市民の命とくらしを守ることは最大の課題であり、新年度予算の基本に据えるべきです。引き続き、下水道基本料の免除や国保税の子どもへの減免拡大、指定

ごみ袋の負担軽減、中小企業などへの応援給付金など、くらしと営業を支える施策の具体化を求めます。

**答** 感染症対策や災害対策、健康施策、子育て支援施策など市民の暮らしに寄り添い、優先度の高い事業に予算を重点化しました。国の交付金を効果的に活用し市民の暮らしを支援するとともに、持続化給付金などについても、市長会を通じて引き続き支援を要望していきます。

### 福祉施設での定期的なPCR検査を

**問** 感染抑止には無症状患者の把握と保護が鍵です。特に高齢者や障害者施設で定期的なPCR検査を行うことが必要です。全額国負担で実施できるような声を上げるべきです。

**答** 都において集中的実施計画を策定し、施設従事者へのPCR検査をより積極的に実施することとしていきます。これにより、市内の全対象施設で検査を実施することとなりました。市としても、検査実施状況の把握や実施の相談などに対応していきたいと考えています。



公明党 一般質問

## 斉藤 あき子

### 避難行動要支援者対策について

**問** 災害発生時、要支援者の安否確認避難誘導などの支援は地域住民による助け合いが不可欠です。そこで本市が取り組んでいる避難個別支援計画を策定することが重要ですが、今後どのように推進するのか伺います。

**答** 有事の際には行政だけでは全ての要支援者への対策は不可能であることから、日頃より地域で助け合う自助、共助を醸成し、地域防災力を高めていただけるよう、今後も引き続き防災当局と連携して対策に努めていきます。

### コロナ禍のがん検診について

**問** がんは、早期発見・早期治療が重要であり、定期的ながん検診を受けることが望まれます。未曾有の感染症にゆれる大変な時期であります。コロナも防ぎ、がんも防ぐことが大切です。現在、検診機関も十分な感染防止対策を取っています。本市のがん検診の実施状況を伺います。

**答** 受診者数の状況は、全てのがん検診において昨年度の実績を上回る見込みです。がん検診は不要不急ではなく、健康維持において大変重要なことですので、その必要性を十分周知し、受診の機会を確保して受診率向上を推進していきます。

### 令和3年度の教育の方向性について

**問** コロナ禍により本来実施するはずだった行事等が中止になり、児童・生徒は我慢を強いられた一年だったと思います。令和3年度の教育の方向性について伺います。

**答** 令和3年度につきましては教育委員会がガイドラインを作成して各校に周知を図り、可能な限り実施の方向で進めています。なお、ガイドラインについては市教育委員会のホームページからもアクセスできるようリンクを付けていきます。





公明党 一般質問

原 和弘

### 非接触自動水栓の設置について

**問**時代のニーズに合わせ、この度、令和2年度の繰り越し事業として公共施設への非接触型水栓の導入が予算化されました。児童を感染症から守るため非接触式自動水栓のニーズは学校施設にもあると考えるが、今後市内学校施設への導入も検討されていくのか、市の見解を伺います。

**答**学校生活では吐水部分を上に向けて飲用に使用したり、下に向けて手洗いや水をためたりと様々な用途で水栓を使用しています。非接触型自動水栓にすると場合によっては教育環境に支障を来すことも想定されるため、導入は難しいと判断していません。

### 令和3年度介護報酬改定について

**問**令和3年度介護報酬改定について、点数・加算などについても様々な変更があり、全体として改定率は0.7%となっている。今回の改定が事業者に与える影響はどのように認識しているか、市の見解を伺います。

**答**利用者の重度化防止にもつながる

**A・D・L**維持等加算の加算単位増加と要件緩和、介護従事者への特定処遇改善加算の賃上げ配分ルール緩和など、職場環境改善の取り組みがより実効性のあるものとなり、介護人材の確保・定着につながる改定と認識しています。

### インクルーシブ公園の設置

**問**建設予定の南口児童館については、障害のある子もいない子も隔たり無く一緒に遊ぶ事ができる「インクルーシブ」な精神をもった公園の導入を推進すべきと考えるが、市の見解を伺います。

**答**南口児童館の整備事業は、中央図書館や中央公園の再整備と併せ、一体的かつ相乗的に機能する地域の核をつくるプロジェクトになると考えています。インクルーシブの視点については、今後計画策定に向けて市民の皆さんの意見を伺いながら検討していきます。



公明党 一般質問

西上 ただし

### 「動く防犯カメラ」で防犯のまちづくりを

**問**ドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として犯罪捜査や災害対応に有効活用するネットワークシステムが開発されました。市民の方々に協力者となっていた

だき映像提供者という立場で、防犯システムに参加いただく市民協働の防犯まちづくりを提案します。

**答**市では東村山警察署との間に、事故や事件が発生した際は保有するドライブレコーダーの記録データを速やかに提供する協定を締結しています。今後は、先進自治体の動向を注視しながら、さらなる市民協働による防犯まちづくりについて検討していきたいと考えています。

### 使い捨てカイロの再活用で水質浄化を

**問**使い終わった使い捨てカイロは、消臭や吸湿、土壌改良に有効活用できると聞きます。又、水質浄化を進める取り組みも始まりました。

使い終わった使い捨てカイロを分別回収し、公園内の池や河川の水質浄化に役立てる取り組みを提案します。

### 「ひまわりの清瀬」で元気なまちを

**答**循環型社会の構築という課題解決の取り組みが持続的な活動になっていくことは、非常に素晴らしいことです。引き続き戸別収集の推進によって分別資源化の向上を図るとともに、市報などによる市民への広報や、交流事業などを通して必要性を伝えていきます。

**問**コロナ禍により昨年は、ひまわりフェスティバルは開催ができませんでした。これまで築かれた\*ジビックプライド・シティプロモーションを継承していくことは重要であると考えます。

多くの市民、児童・生徒にご協力いただき街中にひまわりを咲かせる「元気な清瀬」の創出を提案します。

**答**これまで築き上げてきた「ひまわりの清瀬」のともし火を絶やすことなく継承していくことは、今後の市のシティプロモーションにとって大変有益なことですので、関係者の理解を得ながらどのような形で実施していけるのか検討していきます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。





風・立憲・ネット 一般質問

宮原 りえ

### 障害者の自己決定を保障する

**問** 障害者総合支援法（2012年）では特に知的・精神障害者が、生活全般で意思（自己）決定を行う権利が尊重されるようになり、信頼関係のある家族や介助者による「意思決定支援」の考え方が導入された。サービス等利用計画を本人や家族が立てるセルフプランはその一つと言える。市としてどう考えるか。

**答** サービス利用に際して、相談支援専門員によらずセルフプランを希望されるケースとしては、本人の状況をよく理解している通所先やグループホームの職員などの支援によるものがあります。サービスの利用が単一事業で、専門員によるプラン作成の必要が低い場合なども該当します。

### 障害者の地域移行について

**問** 障害者総合支援法の骨格提言では「主たる障害者は地域で暮らす権利を有し地域移行の対象となる」とある。市としてどう取り組み、成果を上げて来たか伺う。もし受け皿が足りないならば、国の政策に反映させ

るよう働きかけるべき。

**答** 障害があってもなくても、自らの希望するところに住む権利は全ての人があるという理解をしています。本人や家族の希望に沿えるように支援者や事業者、東京都の相談員、弁護士、後見人などの関係者や関係機関と緊密に連携して地域移行に取り組んでいきます。

### 新庁舎移転に伴う組織の改正について

**問** 学童クラブとまなべーが教育部の所管になることになり、教育と児童福祉の連携が進むことを歓迎する。子どもや保護者、働く方々にとって何がかわるのか。申し込み場所や、育成料と給食費の引き落とし口座等、利便性が上がることを期待する。

**答** 学童クラブにおいては特に変更点はありません。まなべーについては児童センターに加え、市役所でも申し込みできるようにします。組織改正後も引き続き現場レベルや事務レベルでの連携を図っていくことで、子どもの安全・安心や利便性の向上に努めていきたいと考えています。



無所属の会 一般質問

石川 秀樹

### 新型コロナウイルス 予約の方法は

**問** 接種券が届いたあとに電話で予約する場合、市のコールセンターの電話がパンクする恐れがある。スマホ等から予約できる仕組みを導入して欲しい。予約の際に接種会場（医療機関）の選択は可能か。

**答** 接種券が届いた後にご自分で会場・日時を選択することになります。専用コールセンターを設置し、電話による予約を受け付けるほか、Web予約ができるよう、システム構築を進めています。接種券発送直後は電話が殺到すると思われるので人員を増員します。

### 新型コロナウイルス 高齢者の接種について

**問** 清瀬市内には65歳以上の高齢者が約2.1万人いる。何日間位でこの2.1万人に接種完了となるのか。そのためには一医療機関で一日何人くらいの接種が可能か。

**答** 65歳以上の高齢者の接種スケジュールですが、約3か月間で接種を完了させる体制確保を目指しています。大規模な病院では一日100人程度、診

療所では一日10人程度、市内全体では一日約700人の接種体制が確保できています。

### 新型コロナウイルス 全市民の接種完了は

**問** 市民が関心を持っているのは、自分がいづごろワクチンを接種できるようになるのか、その目安を知りたいということだ。高齢者のあとの、残りの市民すべてが2回の接種を完了するのは、いつごろになるのか。

**答** 高齢以外の一般の方の明確な接種スケジュールは国から未だ示されていません。ファイザー社のワクチンだけでは全国民の接種は完了できず、それ以外のワクチンの状況は不明なためです。国からの通達では、令和4年2月末までにすべての国民の接種を終えるよう指示されています。





共に生きる

一般質問

## ふせ 由女

### コロナ禍の 介護現場について

**問**市内の介護現場において、新型コロナウイルスの集団感染の発生への対応や、従事者の方々に対する十分なPCR検査などが心配されます。その中でも、介護事業者への救済措置も考慮されますが、本市ではどのようになされているか、伺います。

**答**市内の介護施設職員のPCR検査の実施状況ですが、介護老人福祉施設（特養）等においては5施設中4施設が、介護老人保健施設（老健）では3施設中1施設が、既に補助事業を活用してPCR検査を実施しています。

### 介護保険制度について



**問**創設から20年が経ち、使いづらさや保険料の高騰などの問題が指摘されています。2014年に「要支援1、2」が給付から外され地域支援事業となり、2017年に「地域包括ケア強化法」が導入されましたが、

市内の利用者にとってどのような影響がみられたか、伺います。

**答**これまで介護予防給付サービスとして提供していた介護予防訪問サービスと介護予防通所サービスは、事業形態としては地域支援事業の日常生活支援総合事業相当サービスへと移行していますが、サービスの内容に大きな変更はなく、引き続き利用されています。

### 外国人労働者について

**問**市内でも外国人をみかけることが多くなりました。報道などで技能実習生の置かれている状況を知るにつけ、とても気がかりです。市内に居住する外国人労働者の中に技能実習生は含まれているのか、また、外国人労働者に対して市独自の支援策は行われているのか、伺います。

**答**令和3年3月1日現在、市内の外国人技能実習生は104人となっています。市独自の実習生に特化した支援はありませんが、実習生に限らず就労等の相談をいただいた際には、東京都やハローワークをはじめとする国の機関などと連携して対応に努めています。



清瀬みらい

一般質問

## 城野 けんいち

### 柳瀬川と金山緑地公園の ごみ問題について

**問**清瀬の豊かな自然環境、安心して暮らせる住環境を守るために、ごみ問題は避けて通れません。清瀬市の水と緑に関する考え方、柳瀬川の河川敷、金山緑地公園の現状、課題と対応について、見解を伺います。

**答**市では、河川管理者である東京都とも連携しながら、公園および調節池内の掲示物、職員の現地巡視と声かけにより、ごみの持ち帰りなどのマナーの遵守を呼びかけています。また、駐車場に指定管理者制度を導入したことにより、場内の整備や管理状態も向上しています。



### 市の施策進捗状況と評価について

**問**清瀬市長期総合計画も折り返しです。5年間で振り返り、基本構想から施策として具体化したこと、進捗

状況など、これまでの評価と今後について、市の見解を伺います。

**答**まちづくり指標に基づくこれまでの5年間の評価では8割程度の達成率で、おおむね順調に推進されています。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、達成率が5割を下回る施策もありますので、十分な分析を行い、今後の施策展開に反映していきたいと考えています。

### 清瀬市の将来像について

**問**少子高齢化、人口減少時代に入り、多くの課題に直面しています。子どもたちが若者たちが住み続けたいと思えるかどうか、重要であると考えます。清瀬市のまちづくりで、将来的に清瀬はどのようになっていくのか、見解を伺います。

**答**引き続き保育園の待機児童対策に取り組むほか、小中学校を再編し、地域コミュニティの拠点を整備していきます。長期総合計画で掲げる将来像の実現には財政基盤の強化が必要不可欠です。行財政改革を着実に進めながら、誰もが住み続けたいと思ふまちづくりを進めていきます。



清瀬自民クラブ 一般質問

友野 和子

### コロナ禍における高齢者の認知症対策について

**問** コロナ禍で外出自粛の要請により人と会う活動が制限されて、高齢者は家にこもりがちになり体力が落ちてしまい、認知症等が進むのではないかと懸念しています。市の状況と対策について伺います。

**答** 市が主催する一般介護予防事業は、昨年6月より再開しました。今回の第3波と言われる緊急事態宣言下においても引き続きマスクの着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保など感染防止の徹底を図った上で事業を継続しています。



### 高齢者と消費者教育について

**問** 消費者問題は社会経済の情報・国際化に伴い多様・複雑化し、被害については国が守る時代から個人の権利で守る時代に入り「自立のための

教育」が必要とされています。近年高齢者を狙った悪質な詐欺が増えていきます。今年の状況や手口の傾向、対策を伺います。

**答** 市内の被害件数は昨年より大幅に減少したものの、被害額は上回る状況です。特色としては預貯金詐欺やオレオレ詐欺などの被害が多く発生しています。引き続き東村山警察署や関連所管課と連携し、日頃の防犯への意識啓発を図りながら安全・安心なまちづくりに努めていきます。

### 少子高齢社会の「共生型コミュニティづくり」

**問** 市民の皆さんが地域で助け合い支え合い、生き生きと安心して暮らせる地域社会の構築を目指すにあたり、市全体のボランティア活動や市民活動を市はどのように支えているのか伺います。

**答** 市では、清瀬ボランティア市民活動センターを開設して市民活動を支援しています。市民自ら魅力あるまち、住み続けたいと思うまちづくりに参画することは、都市格の高いまちの実現につながります。センターの幅広いネットワークを生かしながらしっかりと支援していきます。



清瀬自民クラブ 一般質問

森田 正英

### 副業や兼業の活用について

**問** 民間で積んだ経験やノウハウを取り入れ、自前では人材育成が難しい分野をカバーするため、首都圏の自治体で副業や兼業を通し専門的な人材を採用する取り組みが広がっている。また、スキルアップの一環で職員に副業を認める動きもあり、官民のヒトの垣根は下がりつつあるが、見解を伺う。

**答** 副業や兼業の活用はメリットもありますが、デメリットやリスクも伴います。本業との掛け持ちの場合のルールや長時間勤務防止、個人情報流出のリスク管理など課題整理が必要で、市として国や東京都、各自治体の動向を注視しながら慎重に検討していきたいと考えています。

### 働き方改革の一環として職場環境の改革を

**問** 新オフィスとして階級順などで配置されたレイアウトを見直し、個人の机を置かない「フリーアドレス」の導入や、Web会議専用コーナーの整備など職場環境を整えることについて見解を伺う。

**答** 新庁舎ではWiFi環境の中、フリーアドレスでも業務ができるようになっていきます。また、会議室にインターネット回線が整備されるため、あらゆる場所でのWeb会議が可能となります。いろいろな状況を研究しながら、清瀬流の働き方改革を目指していきたいと考えています。

### 下水道「雨天時流入箇所」の対策

**問** 都は下水道の接続地点や市町村の境界地点に、汚水や雨水の流れを計測する多機能型マンホール蓋「スマートマンホール」の設置運用を進めている。晴天時と雨天時の流量の違いなどを測りながらデータの有効性の確認や、流入箇所絞り込みを進め、必要に応じて市町村と対策を協議する考えだが、対応について伺う。

**答** マンホール蓋に測定機能及び通信機能を付加することで、管渠内の状況がリアルタイムに把握できます。水位変動のデータを蓄積することで市の雨天時浸入水排出量を把握し、その対策の促進や効果検証などに活用していきます。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 清水 ひろなが

### 学校給食における 地産地消推進について

**問** 学校給食で、地場農産物が使用されていると思いますが、コロナ禍の影響で、学校給食の中止に伴い減ったと思います。現在の地場農産物の使用については、どのようなのか、又、地場農産物の仕入れから、各学校への流れは、どのような仕組みであるか伺います。

**答** 学校給食で使用する地場産野菜の割合は、金額ベースで約15%です。安定的に納品するため、生産農業者と連携して配送事業を実施しています。各学校から発注された食材を市役所に置いてある倉庫に入れてもらい、公益財団法人東京しごと財団によって各学校に納品されています。

### 宅地開発について

**問** 相続などにより、農地が転用され宅地開発が行われています。開発地を高くするために擁壁を作ったり、道路の付け替え等あった際に、隣地の方に対して、何の説明もないなどの話を聞きました。開発を行う際にどのような指導を行っているのか伺

います。

**答** 開発事業者に対しては、条例において周辺住民への十分な説明と理解を得る努力義務を定めています。事業者によって説明の手法は様々あるようですが、目的は住民の皆さんに開発内容を理解していただくことです。ので、分かりやすい説明をしてくるように指導しています。

### 市税収について

**問** コロナ禍の中、税収の大幅な減額が見込まれます。本市が持続可能な発展を遂げていくには、新しい自主財源が必要だと思えますし、現在ある税の完全なる徴収も重要だと考えます。現在の徴収状況は、どのように認識しているのか、また新しい財源の確保について伺います。

**答** 令和3年度の市税収入は前年度に比べ2億5千200万円、率にして2.6%の減額を見込んでいます。財源の確保につきましてもは収納率向上のほか、公共施設の使用料や手数料の見直し、ふるさと納税の充実、新庁舎を含む公共施設駐車場の有料化などを引き続き検討していきます。



日本共産党 一般質問

## 佐々木 あつ子

### 清小・八小と清中の一貫校 は進めるべきではない

**問** 公共施設の再編計画が進められる中、7年後には清瀬小の建て替えと同時に八小との統廃合と清中との一貫校が計画されている。35人学級が始まるが新たに教室不足の問題が生じ、計画の見直しは必要である。

小中連携教育を進めることはよいが、単に延床面積の縮小に重点が置かれる一貫校は進めるべきではない。子どもたちの教育効果など学校関係者、保護者、教員などの議論が必要だ。  
**答** 新校が開校する頃の児童数は、方針で掲げる適正規模内に収まると想定しています。校舎形態については、一定の年度まで別棟で学び生活することになります。可能な限りの工夫を重ね、一貫型学校の意義が生かせるよう検討していきたいと考えています。

### 指定管理者導入は 拙速に進めるべきではない

**問** 3つの学童クラブが指定管理者に移行するにあたり職員の待遇改善、開所時間が延長された。市直営の学童クラブについても格差を解消すべ

きた。市は、学童クラブの指定管理者導入の検証をおこない、今後については拙速に進めるべきではない。

**答** 学童クラブに指定管理者制度を導入することによって国や都の補助金が活用できることから、これまで保護者から強い要望があってもなかなかかなえることができなかった開所時間の拡大や、職員である指導員の処遇改善などが図れることから引き続き進めていきます。

### 介護保険料の軽減を

**問** 介護保険料が見直されるが、高すぎて払えず滞納により介護サービスを受ける際に利用料が3割負担になるなど問題がある。介護給付費準備基金など活用し、軽減すべきだ。

**答** 今年度までの第7期介護保険事業計画では3年間で介護給付費準備基金から3億円、令和3年度からの第8期介護保険事業計画においては3年間で同基金より、介護保険料の上昇を抑制するために合計4億5千万円を繰り入れる予定です。



日本共産党

一般質問

山崎 美和

### ごみ袋の市民負担軽減を

**問**長引くコロナ禍のもと、ごみ袋値下げ等、市民負担軽減が必要です。東大和市、狛江市など、高齢者へのごみ袋減免を行う自治体が増えていきます。生きていくうえで欠かせないごみ捨ての権利を保障するために、ごみ袋減免対象を非課税世帯や高齢者世帯に拡大するよう求めます。

**答**市では、生活保護や児童扶養手当受給世帯を対象に廃棄物処理手数料を減免していましたが、令和2年度から重度障害者世帯についても非課税世帯を減免対象として拡充を図っています。紙おむつの無料収集なども実施していますので、非課税世帯全てへの拡充は考えていません。

### 生活保護申請をためらいなくできるよう工夫を

**問**生活保護申請をためらわせる大きな理由の一つに扶養照会があります。「家族に知られるのが一番のハードル」などの声もあります。

厚労相は、扶養照会は法律的事項ではなく「義務ではない」と国会答弁しました。困窮者を生活保護から

遠ざける扶養照会はやめるべきではないでしょうか。

**答**生活保護法では民法に規定される扶養義務者の扶養は保護に優先して行われるとされていて、金銭的・精神的援助の可否を書面で照会しています。生活保護制度は法定受託事務ですから自治体の判断でやめることはできませんが、DV・虐待等の理由で照会を行わないこともあります。

### 困窮する高齢者に家賃補助を

**問**年金生活者の生活困窮が深刻です。年金支給前は食べるのにも困るほどなのに、生活保護を申請しても対象にならないという方が増えています。収入の限られている年金生活者に、UR団地を借上げるなど、住居支援、家賃補助の拡充を求めます。

**答**高齢者の生活困窮対策については、生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関である「きよせ生活相談支援センターいっば」を中心として、庁内の各課や地域包括支援センターを含む関係所管が相互に連携を取りながら支援を実施しています。



日本共産党

一般質問

香川 やすのり

### 都立・公社病院の独立行政法人化に反対を

**問**都内の感染症病床の約7割は都立・公社病院です。感染症医療や障がい者医療である行政的医療へ支出している40億円を削減する為に、都の直営から外そうとしています。

不採算である行政的医療が崩れてしまふと受け入れが困難になる可能性があります。市として独法化に反対すべきです。

**答**独立行政法人化しても、都が100%出資する法人として都立病院であることや提供する医療サービスに変わりはありません。むしろ機動的な運営によりサービスの充実が図れます。都立病院としての役割は変わることはありませんので、市として反対はしません。

### 特別支援学級増設について

**問**清瀬小のひばり学級・通常学級共に児童数が増え学級増が課題です。ひばり学級は過密状態で落ち着いた学習環境ではありません。

国も少人数学級へ動き出し、教室

の環境改善は急務です。新年度から学級増設を始めるべきです。

**答**清瀬市特別支援教育推進計画第4次実施計画に基づき、特別支援教育体制を整備する中、特別支援学級の移設、新設の準備を進めています。令和3年度から、清瀬小学校の児童が清瀬第八小学校と、清瀬第七小学校の児童が清瀬第三小学校とそれぞれ交流する予定です。

### 老朽化したプールは改修を

**問**四小・四中のプールが老朽化に伴い民間の利用委託になります。

移動の時間などで授業時間の学校間格差が生まれませんか、今後の水難事故防止授業について伺います。

**答**各学校で可能な限りの配慮をして、全校での水泳授業が実施できるように取り組み、格差が生じないようにしていきます。また、全ての小学校高学年で夏期休業直前のプール指導において、着衣のまま水に落ちた場合の対処について学ぶ機会が設けられています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



日本共産党

一般質問

## 深沢 まさ子

### 松山・野塩市役所出張所の 存続を

問市は、マイナンバーカードを持っていれば住民票などの各種証明書をコンビニでも交付できるとして、出張所の廃止を検討しています。

しかし、共産党のアンケートでは、同カードを取得し、コンビニ交付を利用している方はわずか6%に留まり、窓口の必要性は変わりません。出張所は存続するべきです。

答コンビニ収納やコンビニ交付など代替策を講じた上で、出張所に要する予算と職員を他の行政需要に充てるために出張所を廃止するものです。昨年の第3回定例会において、松山出張所廃止がマイナンバーカードの普及率上昇を前提に可決されており、廃止を変更する考えはありません。

### 耐震化工事期間中の仮設の 野塩出張所の設置を

問野塩市民センターの耐震化が計画より1年前倒しで、実施されます。市民の要望でもあり、歓迎します。

8月から来年2月までの工事期間中は出張所の使用ができません。仮設の出張所の設置を求めます。

答代替地の確保の問題や設置に多額の経費がかかること、工事に係る仮設建築物等や工事関係車両の出入りなどを勘案すると、仮設の出張所設置そのものが困難であり、工事を安全、確実に実施することが一番重要ですので、開設することは考えていません。

### 国民健康保険税の子どもの 減免の継続と拡充を

問国は、2022年度から国保税の子育て世帯の負担を軽減するため、就学前までの子ども均等割を半額にする方針を決めました。市では、国に先駆けて所得300万円以下の第2子以降の減免を実施してきましたが、来年度までの措置になっています。

国の制度と合わせて、対象者を拡充し、継続することを求めます。

答令和4年度からの子どもに係る均等割額の減免措置は法令に規定され、全国一律で導入されます。保険者判断での条例減免については、都を通じて国へ照会をしているところです。今後詳細が示されてくると思いますが、その内容を見て対応していきたいと考えています。

### 令和3年第1回定例会

### 可決・承認・同意した主な議案

#### ▼令和2年度清瀬市一般会計補正予算 (第9号)

1月上旬に国から示された補助金に基づき新型コロナウイルススワクチン接種事業を早急に展開するため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億977万円を追加し、歳入歳出予算の総額は436億5千787万9千円となりました。なお、補正予算は1月15日付で専決処分し、議会はこれを承認しました。

#### 歳入の主なもの

国庫支出金では、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業費で8千700万円、新型コロナウイルススワクチン接種事業費として2千277万円、いずれも全額国からの補助で1億977万円の増額です。

#### 歳出の主なもの

接種対象者に交付する接種券(クーポン券)の郵送費用として27万5千円、接種を行う医療機関への委託費として2千277万円(1万人分)、コールセンター等の業務も含めた医療機関等への委託費が6千868万5千円です。

#### ▼令和2年度清瀬市一般会計補正予算 (第10号)

国からの地方創生臨時交付金の第3

次交付限度額が示されたことで、既に実施している事業費を整理するとともに、新たな新型コロナウイルス感染症対策事業や生活保護費、都市計画街路事業などを増額するため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7千892万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額は439億3千680万5千円となりました。

#### ▼令和2年度清瀬市一般会計補正予算 (第11号)

一般会計補正予算第9号で承認された、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業について、令和3年9月分までの限度額が国から増額して示されたことから事業費を翌年度へ繰越すとともに、東京都から交付された市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金の年度内執行分を清算するため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億6千400万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額は444億81万2千円となりました。

#### ▼清瀬市教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に、次の方を任命する議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

教育委員 兵頭 扶美枝

# 提出された議案等の結果

第1回定例会(3月)で審議された議案等の結果

(○：賛成 ×：反対)

市長提出議案									
番号	件名	清瀬自民クラブ	日本共産党	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
議案第1号	専決処分の報告について(令和2年度清瀬市一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第2号	令和3年度清瀬市一般会計予算	○	×	○	○	○	×	○	可決
議案第3号	令和3年度清瀬市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	令和3年度清瀬市駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	令和3年度清瀬市介護保険特別会計予算	○	×	○	○	○	×	○	可決
議案第6号	令和3年度清瀬市後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	×	○	可決
議案第7号	令和3年度清瀬市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	令和2年度清瀬市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	令和2年度清瀬市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和2年度清瀬市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	令和2年度清瀬市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	清瀬市教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	清瀬市コミュニティハウス設置条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	清瀬市組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	清瀬市郷土博物館条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第16号	清瀬市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	清瀬市介護保険条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	×	○	可決
議案第19号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	清瀬市都市計画審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	令和2年度清瀬市一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	清瀬市教育委員会委員の任命について	投票による							同意
議案第23号	清瀬市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決

委員会提出議案									
番号	件名	清瀬自民クラブ	日本共産党	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
議案第1号	清瀬市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	清瀬市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	可決

議員提出議案									
番号	件名	清瀬自民クラブ	日本共産党	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
議案第1号	個人情報保護法の改正について慎重に検討するよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	中学校における少人数学級の早期実現を求める意見書	×	○	×	○2×1	○	○	×	否決
議案第3号	75歳以上の医療費窓口負担2割導入の撤回を求める意見書	×	○	×	○	×	○	×	否決
議案第4号	全額国庫負担でPCR検査の抜本的拡充を求める意見書	×	○	×	○	×	○	×	否決
議案第5号	保健所の体制強化と増設を求める意見書	×	○	×	○	×	○	×	否決
議案第6号	東京2020オリンピック・パラリンピック大会の今夏の開催は中止・再延期し、コロナ対策に集中するよう求める意見書	×	○	×	○2×1	×	○	×	否決
議案第7号	建設アスベスト被害の全面解決を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決

請願・陳情									
番号	件名	清瀬自民クラブ	日本共産党	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
請願第1号	国立病院の機能強化を求める意見書提出を求める請願	×	○	×	○2×1	×	○	×	不採択
請願第2号	子どもたちの健康を守るために、小・中学校内での電磁波被ばくの削減を求める請願	×	○	×	○2×1	×	○	×	不採択
陳情第1号	自衛隊の医療部隊増強について意見書を国に提出することに関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情第2号	「地域的な包括的経済連携(RCEP)を承認しないことを求める意見書提出」を求める陳情	×	退席	×	×	×	○	×	不採択
陳情第3号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」に関する陳情	×	○	×	○2×1	×	○	×	不採択
陳情第4号	東京都に多摩北部医療センターの医療機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	×	○	×	○2×1	×	○	×	不採択
陳情第5号	建設アスベスト被害の全面解決に向けた意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	採択

報告									
番号	件名	清瀬自民クラブ	日本共産党	公明党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	清瀬みらい	議決結果
第1号	令和3年度清瀬市土地開発公社事業計画及び予算	—	—	—	—	—	—	—	了承

※表中の会派の名称及び議員名

- 清瀬自民クラブ (友野 和子・清水 ひろなが・渋谷 のぶゆき・森田 正英 4人)
- 日本共産党 (香川 やすのり・深沢 まさ子・山崎 美和・佐々木 あつ子・原田 ひろみ 5人)
- 公明党 (斎藤 あき子・原 和弘・西上 ただし・鈴木 たかし 4人)
- 風・立憲・ネット (小西 みか・宮原 りえ・斎藤 実 3人)
- 無所属の会 (石川 秀樹 1人)
- 共に生きる (ふせ 由女 1人)
- 清瀬みらい (城野 けんいち 1人)

※( )内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、渋谷 けいし議長を除いた人数です。

24	17	16	15	10	9	5	4	3	3	1	24	22	18	17	2	16
各派代表者会議	議会運営委員会 本会議(最終日)	議会運営委員会 本会議(最終日)	各派代表者会議	建設環境常任委員会 福祉保健常任委員会 総務文教常任委員会 予算特別委員会	予算特別委員会 (書面)	予算特別委員会 (書面)	本会議(一般質問)	本会議(代表・一般質問)	本会議(一般質問)	各派代表者会議 議会運営委員会 予算特別委員会 全員協議会	第1回柳泉園組合議会定例会	第2回全員協議会	多摩北部都市広域行政圏協議会第2回審議会	第1回多摩六都科学館組合議会定例会	第2回柳泉園組合議会代表者会議	全国高速自動車道市議会協議会第47回定期総会(書面開催)

**\*手話通訳者での傍聴ができます\***  
 希望される方は事前(7日前まで)に申し込みが必要です。  
 詳しくは議会事務局へ下記FAX番号宛てにお問い合わせください。

28	18	17	16	14	11	10	6	8	13	10	5	6	30	27	26	4	19	31	30	29	28
本会議(最終日)	議会運営委員会	建設環境常任委員会	福祉保健常任委員会	総務文教常任委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(初日)	本会議(初日)	三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議(書面開催)	都市高速鉄道12号線延伸促進協議会令和3年度総会	清瀬市議会議場開場式典	清瀬市役所本庁舎閉庁式	清瀬市議会議場閉場式典	第87回関東市議会議長会定期総会(書面開催)	各派代表者会議	議会運営委員会	東京都市議会議長会臨時総会	第1回柳泉園組合議会代表者会議	第4回柳泉園組合議会代表者会議	第3回柳泉園組合議会代表者会議	清瀬市新庁舎建設工事竣工記念式典

**第2回定例会の開会予定**

令和3年清瀬市議会第2回定例会を6月8日(火)から28日(月)まで、会期21日間にわたり開会する予定です。

**◇日程(案)**  
 6・8 本会議(初日)  
 10 本会議(一般質問)  
 11 本会議(一般質問)  
 14 本会議(一般質問)  
 16 総務文教常任委員会  
 17 福祉保健常任委員会  
 18 建設環境常任委員会  
 28 本会議(最終日)

**訃報 中澤弘行副市長逝去**  
 中澤弘行副市長(享年67歳)が2月22日に逝去されました。  
 中澤氏は昭和51年、清瀬市に入庁し、財政課長、都市計画課長、企画部長などを歴任され、平成23年7月から副市長を務められていました。  
 謹んで哀悼の意を表し心よりご冥福をお祈りいたします。

**用語の解説**

- \*ADL…日常生活動作(ADL)とは Activities of Daily Living のことでAはアクティビティー(動作)、DLはデイリーリビング(日常生活)を指す。日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のこと。
- \*インクルーシブ公園…車いすを利用していたり、体を支える力が弱かったりして、一般的な公園で遊びづらい子どもへの配慮が施された遊具などがあり、障害の有無にかかわらずみんなで遊べる公園のこと。
- \*シビックプライド…まちへの「誇り」「愛着」「共感」をもち、「まちのために自ら関わっていきこうとする気持ち」のこと。
- \*独立行政法人…公共上の見地から確実に実施が必要な事業(公共病院、公立大学、試験研究機関など)で、民間が主体となった場合に必ずしも実施されないおそれがあるものを、効率的かつ効果的に行わせることを目的に設立する法人で、公的サービスを提供する役割が法律で義務付けられている。

市議会はいつでも傍聴でき、会議録は市のホームページからご覧いただけます。  
 きよせ市議会だよりの音訳CDを作成しています。  
 ご希望の方は、議会事務局へご連絡をください。



**問い合わせ** 清瀬市議会事務局  
 清瀬市中里5-842 TEL(042)497-2566(直通) FAX(042)495-1189  
 清瀬市ホームページ <https://www.city.kiyose.lg.jp/>